

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



—— 創立指揮者 渡邊暁雄 ——

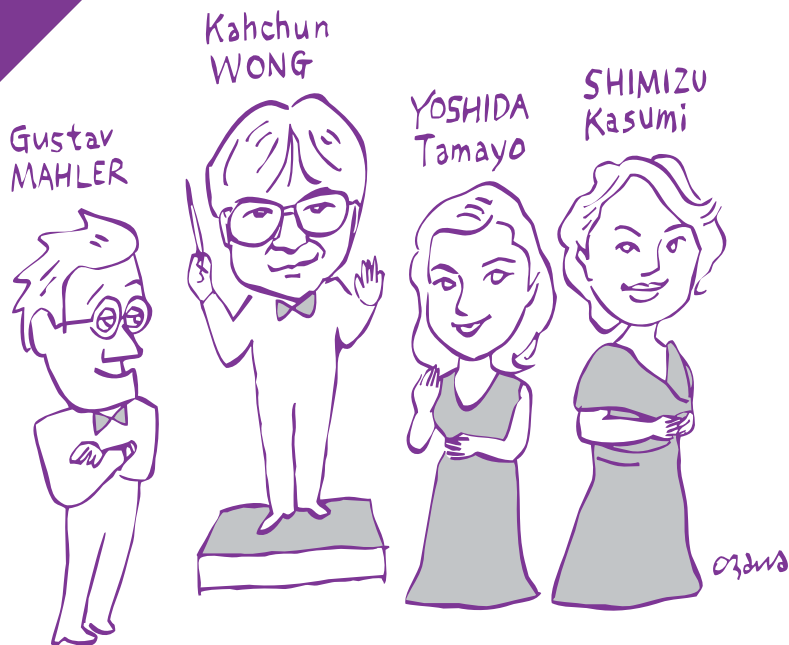
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
SUBSCRIPTION
CONCERTS

2025

3

MAR

第 768 回
東京定期演奏会



サントリーホール

2025年3月7日(金) 19:00 3月8日(土) 14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

電源 OFF	アラームOFF 電源OFF	演奏中は携帯電話や時計のアラームなどデジタル機器の電源はお切りください。
音にご注意を	ビニール袋	マジックテープやファスナーの音 靴にしまう、または下へ置くなど物音がたないようにご配慮ください。
	船の袋	鈴などアクセサリがついたストラップ 靴にしまうなど鳴らないようにご配慮ください。
	補聴器の音	ハウリングをおこさないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。
声と拍手にご注意を	私語 せき	演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから最後の余韻までお楽しみください。
撮影禁止	録音禁止 録画禁止 写真撮影禁止	演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。 ※演奏終演後に写真撮影可能な公演がございます。 詳細は公演時にご案内いたします。
周囲にご配慮を	身を乗り出さない つかの広い/高さのある帽子	席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることもございます。周囲にご配慮を。



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- ・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- ・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- ・フラッシュの使用はお控えください
- ・動画の撮影はお控えください
- ・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- ・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- ・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりごみにご注意ください
- ・自撮り棒などの使用はお控えください
- ・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください(録音・録画は違法行為です)

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ #日本フィル #japanphil をつけてください!

目次 CONTENTS

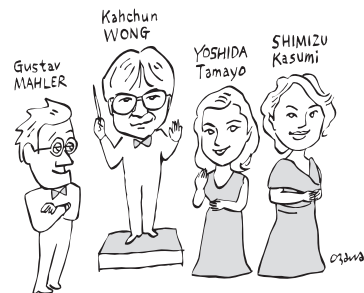


©Angie Kremer

■ プログラム	4
■ 出演者プロフィール	6
■ プログラム・ノート- 広瀬 大介 -	10
■ 歌詞対訳	13
■ 写真プレイバック- 2024年11月~2025年1月 -	15
■ 次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー アレクサンダー・リープライヒ編	16
■ 今後の日本フィル出演公演	18
■ 今後のカーチュン・ウォン出演公演	20
■ あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ	22
■ 感動の共有 ~ご支援のお願い~	29
■ 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	30
■ パトロネージュご芳名	34
■ Member's TVU CHANNEL 配信一覧	36
■ 新入団員紹介	37
■ インフォメーション	38
■ 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 名簿	39

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 768th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第768回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall

2025年 3月7日(金)午後7時開演 / 8日(土)午後2時開演
7:00p.m., Friday, 7th & 2:00p.m., Saturday, 8th March, 2025

■ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今月は広瀬大介さんです。

金曜日 / 18:30 ~
土曜日 / 13:20 ~

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

協賛 / 株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社

三井不動産株式会社

ホッカンホールディングス株式会社

UBE株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄

助成



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

後援 / 駐日シンガポール共和国大使館

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

マーラー: 交響曲第2番《復活》ハ短調

Gustav MAHLER: Symphony No.2 "Auferstehung" in C-minor

約80分

休憩はございませんので、予めご了承ください

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者]

Conductor: Kahchun WONG, Chief Conductor

ソプラノ: 吉田 珠代

Soprano: YOSHIDA Tamayo

メゾソプラノ: 清水 華澄

Mezzo Soprano: SHIMIZU Kasumi

合唱: 東京音楽大学

Chorus: Tokyo College of Music

コンサートマスター: 田野倉 雅秋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

この演奏会の模様はNHKにて放送予定です

NHK-Eテレ「クラシック音楽館」

2025年4月13日(日)夜9時~

※やむを得ず休止・延期となる場合がありますがご了承ください

<https://www.nhk.jp/p/ongakukan/ts/69WR9WJKM4/>



*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。



Conductor

指揮

カーチュン・ウォン [首席指揮者]

Kahchun WONG, Chief Conductor

©Ayane Sato

日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者およびドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者を務めるシンガポール出身のカーチュン・ウォンは、その舞台における圧倒的な存在感と東洋と西洋の芸術的遺産を探求し続ける思慮深さにおいて国際的に高く評価されている。2024年秋からはサー・マーク・エルダー氏の後任として、英国マンチェスターに本拠を置くハレ管弦楽団の首席指揮者兼アーティストック・アドバイザーに就任した。

2016年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで優勝。ニューヨーク・フィルハーモニック、クリーヴランド管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする著名なオーケストラに客演。

ウォンは多くの現代作曲家と強い信頼関係を築いており、今シーズンはバービカン・センターでBBC交響楽団と共に細川俊夫の《祈る人》の英国初演、およびドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮

者就任記念演奏会のために特別に委嘱された、タイの作曲家ナローン・プランチャルーンの《影の反映》の世界初演、また2022年には高名な導師でありインド人ヴァイオリニストであるカラ・ラムナスのために書かれた、レーナ・エスマイルの「ヒンドウスタンヴァイオリンのための協奏曲」をシアトル交響楽団演奏にて世界初演したほか、2019年にはニューヨーク・フィルハーモニックとタン・ドゥン（譚盾）の《火の儀式》の米国初演を指揮している。国内においては日本フィルハーモニー交響楽団とのサントリーホール定期公演シリーズにて伊福部昭、芥川也寸志、小山清茂、外山雄三らの作品を定期的に演奏している。2022年、東京オペラシティ財団の招聘により、武満徹の意欲的な作品《弧（アーク）》を中心とした管弦楽作品を集めた公演を大成功に導き、日本の主要批評家によってその年の最も優れた演奏会の一つに選ばれた。



Soprano

ソプラノ

吉田 珠代

YOSHIDA Tamayo

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。卒業時に桑原賞受賞。同大学院及び新国立劇場オペラ研修所修了。2006年文化庁新進芸術家留学生としてイタリア・ボローニャ王立音楽学校で研鑽を積む。08～10年ロームミュージックファンデーション特別研究生に選出されミュンヘン及びウィーンに留学。

ファビオ・ルイーゼ、チョン・ミュンフン、ユーベル・スダーン、アンドレア・バッティストーニ諸氏をはじめとする世界的指揮者との共演を重ね、これまでに小澤征爾音楽塾、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、新国立劇場、日生劇場、PMF等に出演。

10年オーストリア・シュタイヤー音楽祭《ドン・ジョヴァンニ》ドンナ・アナでヨーロッパ・デビュー。12年小澤征爾音楽塾《蝶々夫人》（関係者公開公演）では外国人キャスト初日公演降板の為、急遽タイトルロールを務め小澤氏から賛辞を得た。15年新国立劇場高校生のための鑑賞教室《蝶々夫人》タイトルロール、17年同《カルメン》ミカエラ等に出演。18年

サントリーホールジルヴェスター・コンサート《こうもり》では外国人歌手に代わり急遽ロザリンデ役として舞台を務めた。以降も、23年東京・春・音楽祭イタリア・オペラ・アカデミー《仮面舞踏会》（演奏会形式）アメリア、24年二期会《コジ・ファン・トゥッテ》フィオルディリージ等で好評を博している。

コンサートでも、16年サントリーホール30周年記念ズービン・メータ指揮ウィーン・フィル「第九」、17年ウィーン楽友協会「第九」、同年サントリーホール主催ジュゼッペ・サバティエリ指揮ロッシーニ「ミサ・ソレムニス」、19年日中友好記念・上海フィル「第九」、同年PMFクリストフ・エッセンバッハ指揮マーラー「千人の交響曲」のソリストとして活躍。24年パブロ・エラス・カサド指揮N響定期《三角帽子》では指揮者から高い評価を受けた。

第6回静岡国際オペラコンクール最高位及び三浦環賞受賞。第12回岩城宏之音楽賞受賞。二期会会員



Mezzo Soprano メゾソプラノ

清水 華澄

SHIMIZU Kasumi

©Mariko Tagashira

国立音楽大学卒業及び同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了後、文化庁在外派遣研修員及びロームミュージックファンデーション在外音楽研究員としてイタリアで研鑽を積む。

これまでにオペラでは《アイダ》アムネリスをはじめ、二期会では《ドン・カルロ》エポリ公女、《イル・トロヴァトーレ》アズチーナ、《フィガロの結婚》マルチェリーナ、《ローエングリン》オルトルート、《カヴァレリア・ルスティカーナ》サントウツア、《サロメ》ヘロディアス等に出演。新国立劇場では《リゴレット》マッダレーナ、《オテロ》エミーリア、《ボリス・ゴドゥノフ》女主人等を演じ、《紫苑物語》(新国立劇場委嘱作品・世界初演)ではうつろ姫で絶賛を浴びた。日生劇場では《メデア》ゴラ、《アイナダマール》(日本初演) ロルカ、《ルサルカ》イェジババ等を演じており、最近では兵庫県立芸術文化センター《蝶々夫人》で初のスズキを演じて新境地を拓いた。

コンサートでも全国の主要オーケ

ストラと共演しており、モーツァルトおよびヴェルディ「レクイエム」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、「第九」、メンデルスゾーン「エリア」、ブラームス「アルト・ラプソディ」、ブルックナー「テ・デウム」、マーラー「復活」「交響曲第3番」「千人の交響曲」「大地の歌」等で国内外の著名指揮者から厚い信頼を寄せられている。

国立音楽大学及び同大学院准教授、名古屋音楽大学客員准教授。二期会会員

清水華澄公式ホームページ:

<https://kasumi-shimizu.com/message/>

公式X(旧Twitter)@shimizukasumi:

<https://x.com/shimizukasumi>

公式Instagram

@kasumi.shimizu:

<https://www.instagram.com/kasumi.shimizu>



Chorus

合唱

東京音楽大学

Tokyo College of Music

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。

日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979年以来40年以上の歴史を持つ。

2018年11月にサンクトペテルブルクフィルハーモニー交響楽団《イワン雷帝》、2019年11月にNHK音楽祭「シンフォニック・ゲーマーズ4」、2021年6月に「めぐろで第九2020+1」、

2022年8月に「フェスタサマーミュージックKAWASAKI 2022」に出演。2023年には日本フィルハーモニー交響楽団「クレルヴォ交響曲」「第九」《道化師》「カルミナ・ブラーナ」、2024年には「地中海のテーマ」「第九」に出演。その他、大学主催演奏会にも出演している。

合唱指導は2024年度より、志村文彦、杉野正隆、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えている。

プログラム・ノート 解説: 広瀬 大介

❖ マーラー: 交響曲第2番《復活》ハ短調

グスタフ・マーラー(1860-1911)による《交響曲第2番》研究は後述のとおり、成立過程が錯綜しているため、近年においてもなおさまざまな試みが続いている。そのうちもっとも話題となったのは、キャプラン版の登場だろう。1982年、アメリカの実業家ギルバート・キャプラン(1941-2016)がこの曲を指揮して以来、キャプランはこの曲だけをあつかう専門の指揮者として世界各地のオーケストラと共演を重ねる。自身の演奏に留まらず、豊富な資金力を活かして資料を集め、2005年にはマーラーの自筆譜(1894年)を元に校訂した「キャプラン版」を出版したことも話題となった。

2010年8月には、このキャプランの成果を取り入れつつ、新批判全集の《第2番》総譜が出版された。1910年4月17日、パリ・シャトレ座でマーラーがこの作品を指揮する際、詳細な書き込みをした「ヴァインベルガー版総譜(初版)」(1979年に発見)を、研究の新たな成果として校訂に取り入れた。マーラーは生涯で13回《交響曲第2番》を指揮している。最後に指揮したパリ公演で、絶えず自作に訂正の手を施し続けたマーラーは、総譜の表紙に「訂正済、

これのみ真正なものと認める」という書き込みを遺した。つまり、この総譜こそマーラーの最終的な意図を反映している、と見なすことが一応可能なわけである。この総譜はエルヴィン・ラッツが手がけた旧全集編纂の際には発見されておらず、2005年のキャプラン版と比べても、数多くの訂正が施されている。

指揮者としての活動の合間を縫う形で、夏休みに風光明媚な地で集中して作曲するというマーラーのライフスタイルは、本作の作曲時期に確立している。もとは交響曲の一部として着想し、交響詩として完成させた《葬礼》(1888)を、もとの意図に従って新しい交響曲の冒頭楽章として用いた。1894年に成立した最終楽章(第5楽章)では、フリードリヒ・ゴットリーブ・クロプシュトック(1724-1803)による主の復活を讃えるコラルの詩をマーラー自身が手を加えた形で用いること、つまりベートーヴェンの《第九》よろしく音楽を用いることを決めて以来、間の楽章をどのような形で繋いでいくその手法に悩んだことになる。

1895年3月4日、第1楽章から第3楽章まで、すなわち純粋に管弦楽だ

けで演奏される前半部分が、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団によって先行演奏された。演奏会自体はリヒャルト・シュトラウスが指揮を執ったが、マーラーはこの自作だけを指揮したと考えられている。全曲の初演は同年12月13日、同じくベルリン・フィルが担当した。マーラーはここで勝負をかけるべく、私財を投じてさまざまな費用を工面したこともあり、初演は大きな成功を収めるに至った。この作品の成否が自身の人生の切所であることを、だれよりもわきまえていたのだろう。この賭けに勝ったことで、マーラーは音楽家としてのキャリアをさらに大きく切り拓いていく。

前述の通り、マーラー自身はこの作品を「みずから作曲した最初の交響曲」ととらえていた。本作がベルリンで初演された当時、後に《交響曲第1番》となるはずの曲は、《5楽章からなる交響曲様式の交響詩「巨人」》という題名を有するのみだった。とはいえ、この初めての「交響曲」も、後述の通り標題的要素を多く含み、実質的には交響詩として作られていることには注意が必要だろう。

この解説でも、標題的な内容を持つ音楽としてマーラーが本作を構想し、自身がその内容を説明していることを避けてとおるわけにはいくまい。

もともとは「葬礼」というタイトルであったとおり、**第1楽章**では《交響曲第1番》に登場した英雄の死が描かれている、と作曲家自身が語っている。マーラーの世界観において、この時期の交響曲同士は緩やかなつながりをもって構想されたことが窺える。楽章終了直前に木管とトランペットで奏されるハ長調主和音→ハ短調主和音への不気味な移行も、後の《第6番》以降の作品では頻りに登場するが、すでにこの時期からその萌芽が垣間見られる。

なお、第1楽章の終わりに「少なくとも5分以上の休みを置くこと」という指示があることは有名だが、あくまでも筆者の個人的な意見では、この指示は演奏者に休息を与えるという意味合いよりはむしろ、この楽章が前の《交響曲第1番》からの続きであるため一区切りを入れ、そして第2楽章から新たな物語が紡がれることを示唆するためのものではなかったか。であればこそ、すでにひとまとまりの曲として受け容れている現代において、この指示がほとんど守られないことがないのも、ある程度納得がいくのではなかろうか。

続く2つの楽章は、それぞれ「斃れた英雄の人生の1コマ」であり、**第2楽章**は舞曲レントラー風の楽想、**第3楽章**はスケルツォとして《少年の不

思議な角笛 第6曲「魚に説教するパドヴァの聖アントニウス」が(声楽を伴わぬ形で)転用された。マーラーの言葉によれば、第2楽章は過去の回想であり、その回想から現実社会に戻った第3楽章で悪夢のような怖しさをもって迫る、という。第4楽章には同じく《角笛》から《原光》が転用され、マーラーにおける交響曲と歌曲の近親性を示す格好の例とされる。みずからは神のごとく、神の御許へと戻っていく、その感覚こそが、卑俗な世間と崇高な天上が地続きにつながるマーラーの世界観そのものの表現であり、それはさらに《交響曲第3番》においても、より精緻に、より大規模に表現されることになる。

休みをおかずにそのまま続けるよう指定された第5楽章。作曲家の言葉によれば「最後の審判とその後の復活」が描かれているこの楽章は、極度に規模が肥大したソナタ形式が採られ、提示部の「審判」と再現部の「復活」が、巧みにモチーフの関連づけを有しつつ描かれる。「Aufersteh'n, ja, aufersteh'n wirst du, 甦(よみがえ)る そうおまえは甦る」と神秘的に歌われる変ト長調の響きこそ、現世と天上の世界が交錯する、マーラーにとっての決定的瞬間であろう。マーラーがこれを「愛」と表現したのは、どこかにワーグナー

的な、《トリスタンとイゾルデ》に見られるような、愛の成就をもたらす死から一步踏み込んだ世界観の提示を目指したからではなかったか。第5楽章冒頭でホルンがハ長調で示した動機が、そのまま膨れあがって、変ホ長調で大団円を導く。交響詩、歌曲、そして交響曲が互いの境界を越え、緩やかにひとつの作品となって結実するマーラーの作曲技法によって、この後《第4番》までは、このような「ハイブリッド交響曲」が生まれていくことになる。

楽器編成：フルート4(ピッコロ持替え4)、オーボエ4(イングリッシュ・ホルン持替2)、クラリネット4(E♭管クラリネット持替1、バス・クラリネット持替1)、E♭管クラリネット1、ファゴット4(コントラ・ファゴット持替2)、ホルン6、トランペット6、トロンボーン3、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ3、大太鼓、シンバル、小太鼓、トライアングル、グロックンシュピール、鐘、むち、タムタム、ハープ2、オルガン1、弦楽5部、ソプラノ独唱、アルト独唱、合唱
バンド：ホルン4、トランペット4、ティンパニ1、大太鼓、シンバル、トライアングル

4. Urlicht

Alt solo:

O Röschen rot,
Der Mensch liegt in größter Not,
Der Mensch liegt in größter Pein,
Je lieber möcht' ich im Himmel sein.
Da kam ich auf einen breiten Weg,
Da kam ein Engelein
und wollt' mich abweisen.
Ach nein, ich ließ mich nicht abweisen!

Ich bin von Gott
und will wieder zu Gott,
Der liebe Gott wird mir
ein Lichtchen geben,
Wird leuchten mir
bis in das ewig selig' Leben!

5. Auferstehung

Chor und Sopran:

Aufersteh'n, ja, aufersteh'n wirst du,
mein Staub, nach kurzer Ruh.
Unsterblich's Leben
wird, der dich schuf, dir geben!

Wieder aufzublüh'n wirst du gesät.
Der Herr der Ernte geht
Und sammelt Garben,
Uns ein, uns ein, die starben.

原光 (『子供の不思議な角笛』)

アルト独唱

おお 紅きばらの花よ
ひとは 苦しみの極みにある
ひとは 辛さの極みにある
かなうものなら 天国に在りたい
みずからが たどった 広き道
天使が来て 私を 追い返そうとした

いや 追い返されるわけには
いかなかった
この身は 神から出で 神へと戻る

愛しき神は 灯明の一筋も
与えてくれよう
永遠の 祝福されし生へと
この身を照らすはず

復活 (クロブシュトック、マーラー)

合唱とソプラノ

そう おまえは甦る
わが塵よ 僅かな憩いの後に
死とは無縁の 生を
おまえを呼びしものから 与えられよう

おまえはふたたび 種まき 花咲かせよう
収穫を司る主が 往き
藁の束を 集めるだろう
われら 死せるものから

Alt solo:

O glaube, mein Herz, o glaube:
Es geht dir nichts verloren!
Dein ist, ja dein, was du gesehnt,
Dein, was du geliebt, was du gestritten!

Sopran solo:

O glaube: Du wardst nicht
umsonst geboren!
Hast nicht umsonst gelebt, gelitten!

Chor und Alt:

Was entstanden ist, das muß vergehen!
Was vergangen, auferstehen!
Hör' auf zu beben!
Bereite dich zu leben!

Sopran und Alt solo:

O Schmerz! Du Alldurchdringer!
Dir bin ich entrungen.
O Tod! Du Allbezwinger!
Nun bist du bezwungen!
Mit Flügeln, die ich mir errungen,
In heißem Liebesstreben
Werd' ich entschweben
Zum Licht,
zu dem kein Aug' gedungen!

Chor:

Mit Flügeln, die ich mir errungen,
Werde ich entschweben!
Sterben werd' ich, um zu leben!
Aufersteh'n, ja aufersteh'n wirst du,
Mein Herz, in einem Nu!
Was du geschlagen,
Zu Gott wird es dich tragen!

アルト独唱

信ぜよ わが心よ 信じるのだ
なにも ^{うしろ} 畏われはしない
おまえが憧れしもの 愛せしもの
争いしものは その手の中に

ソプラノ独唱

信ぜよ おまえは甲斐なく
生まれたのではない
甲斐なく生き 苦しんだのではない

合唱・アルト

生まれしものは かならず滅びる
滅びしものは 生まれ変わる
震えるのは やめよ
生きることに 備えよ

ソプラノ独唱、アルト独唱

この苦しみ すべてを貫くものよ
おまえから 私は離れた
この死 すべてを とらえるものよ
とらわれたは おまえのほう
手に入れた この翼で
熱き愛に 身を焦がしつつ
私は 飛び去ろう
誰の目にも届かぬ 光に向けて

合唱

手に入れた この翼で
いまこそ 飛び立とう
私は 生きるために死ぬ
そう おまえは甦るのだ
この心 このひととき
脈打ってきたもの
おまえを 神のもとへ 導くだろう

Playback

プレイバック

11月~1月の公演を
振り返ります



PHOTO 1 11月23日横浜定期演奏会、
24日名曲コンサート
前首席指揮者ピエタリ・インキネンが日本
フィルの指揮台に帰ってきました!
前半は神尾真由子さんとグラスノフのヴァイ
オリン協奏曲を、後半はついにR.シュトラウスの
《アルプス交響曲》をお届けできました



PHOTO 2 11月29日、30日東京定期演奏会*
日本デビューのバヴェウ・カプワさん登場!最初
は緊張の面持ちだったカプワさんですが
ゲネプロの最後には日本語でご挨拶してく
ださいました。
ソリストのセドリック・ティベルグアンさん、
コンマスの木野雅之と記念撮影!



PHOTO 3 12月8日相模原定期演奏会
下野竜也マエストロと、長年の友情で結ば
れた伊藤恵さんと共にオール・ベートーヴェン
プログラムをお送りいたしました。
開場中には、下野マエストロによる贅沢なプ
レートクも



PHOTO 4 12月15日~28日第九特別演奏会2024
前半は下野マエストロと、後半は小林研一郎
マエストロと渾身の第九をお届けいたしま
した。2024年も沢山のご来場ありがとうございます。
今年もどうぞよろしく願っています!



PHOTO 5 1月11日さいたま定期演奏会*
2025年、日本フィル最初の演奏会は沼尻竜
典マエストロ、三浦文彰さんとさいたま定期
演奏会。三浦さんの真っ直ぐな音色が美しい
ブラームス、後半は《新世界より》をお届けし
ました。
コンマスの田野倉雅秋と3人で記念撮影!



PHOTO 6 1月12日コパケン・ワールド
人気のコパケン・ワールドは今回も完売御
礼!ソロ・コンサートマスターの田野倉雅秋
がソリストを務め、メンデルスゾーンのヴァ
イオリン協奏曲をはじめ、《美しく青きドナ
ウ》、ドヴォルジャークの《新世界より》とい
うニューイヤーに相応しいプログラムをお楽
しみいただきました

*日本フィルのライブ・アーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
<https://members.tvuch.com>



NEXT CONCERTS
》》 次回東京定期演奏会

第 **769** 回

R.シュトラウスのスペシャリスト、リープライヒ 待望の《ツアラトウストラはかく語りき》



©Sammy Hart

©Felix Broede

1回券料金 S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥6,500 C ¥5,500 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,000

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

アレクサンダー・リープライヒ 編

きき手 後藤 菜穂子

—今回の選曲についてお聞かせいただけますか？

プログラムの鍵となるのは、チャールズ・アイヴズの《答えのない質問》です。せいぜい5~6分の短い作品ですが、私にとってこの曲がなぜ重要かといえば、レナード・バーンスタインがハーヴァード大学で行った連続講義*でこの曲を取り上げていたからです。そもそも講義自体のタイトルが『答えのない質問』だったので。

アイヴズは1908年にこの曲を作曲しました——のちに改訂しましたが、今回は初稿で演奏します。バーンスタインによれば、この「質問」とは、20世紀の音楽はロマン派の長調・短調から成る和声のままではよいのか、それともこれからの世界は無調なのか、とい

うものです。すなわち、調性はどこへ行くのか、という問いであり、それは誰にも答えられない質問なのです。でも、はっきりした答えがないからこそ鍵だと思っんですね。

これは、続いて演奏するR.シュトラウスの《ツアラトウストラはかく語りき》にも共通している問いです。有名な冒頭はオクターヴと5度で安定していますが、長調でも短調でもないですし、その後の曲の中心となるのは八音(C)とロ音(B♭)という半音階的な対比なのです。さらには、フガートのテーマは12音の音列でできており、シュトラウスがすでに無調を意識していたことを示唆しています。そして最後は口長調の中、コントラバスの八音のピッツィカートで静かに締め括られます。シュトラウスとい

今後の日本フィル出演公演 2025年3月～5月

2025	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
3月	第148回さいたま定期演奏会 ソニックシティ 15[土]14:00	指揮:梅田 俊明 バレエ:牧阿佐美バレエ団 プロコフィエフ:《ロメオとジュリエット》 (ソニックシティ特別版)	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	オービック・スペシャル・ コンサート2025 サントリーホール 17[月]19:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:高木 竜馬 ナビゲーター:朝岡 聡 グリーク:ピアノ協奏曲 ドヴォルジャーク:交響曲第8番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	杉並公会堂シリーズ2024-2025 第4回 杉並公会堂 21[金]15:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:中野りな チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 リムスキー=コルサコフ: 交響組曲《シエラザード》	お問い合わせ: 杉並公会堂
	第405回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 22[土]17:00		日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	コノケン・ワールドVol.39 サントリーホール 23[日]14:00	指揮とお話: 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:田部 京子 ※当初の発表から出演者が変更になりました モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番 リムスキー=コルサコフ: 交響組曲《シエラザード》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	春休みオーケストラ探検 杉並公会堂 29[土]①11:50/②15:50	指揮:和田 一樹 お話:石井 あみ ビゼー: 歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」 アンダーソン: シンコペイテッド・クロック エルガー:《威風堂々》第1番 ほか ※子どもたちの五感をひらく体験イベントあり	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
4月	小学生からのクラシックコンサート ロームシアター京都サウスホール 6[日]14:00	指揮:園田 隆一郎 ナビゲーター:江原 陽子 プロコフィエフ: 交響的物語《ピーターと狼》 (日本フィルオリジナル台本による上演) ほか	お問い合わせ: エラート音楽事務所

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 [平日10時-17時]
日本フィルeチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。www.japanphil.or.jp



2025	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
4月	第769回東京定期演奏会 サントリーホール 11[金]19:00 12[土]14:00	指揮:アレクサンダー・リー・ブライヒ ヴァイオリン:コリヤ・ブラッハー ハイドン:交響曲第79番 ボリス・ブラッハー:ヴァイオリン協奏曲 アイヴズ:答えのない質問 R.シュトラウス: 交響詩《ツァラトゥストラはかく語りき》 ※当初の予定から変更になりました。	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	にじくら 〜トークと笑顔と、音楽と 第7回 サントリーホール 15[火]14:00	指揮:広上 淳一 ピアノ:小山 実稚恵 ナビゲーター:高橋 克典 ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第3番 映画音楽名曲集	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第406回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 19[土]17:00	指揮:ピアノ:横山 幸雄 ショパン:ポーランドの歌による幻想曲 ショパン:演奏会用ロンド《クラコヴィアク》 ショパン:ピアノ協奏曲第1番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	広上淳一&日本フィル 「オペラの旅」Vol.1 ヴェルディ:オペラ《仮面舞踏会》 (セミ・ステージ形式/全3幕/字幕つき) サントリーホール 26[土]17:00 27[日]17:00	指揮:広上淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] 演出:高島 勲 アメーリア:中村 恵理 リッカルド:宮里 直樹 レナート:池内 響 ウルリカ:福原 寿美枝 オスカル:盛田 麻央 シルヴァーノ:高橋 宏典 サムエル:田中 大揮 トム:杉尾 真吾 合唱:東京音楽大学 ほか ヴェルディ:オペラ《仮面舞踏会》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第770回東京定期演奏会 サントリーホール 9[金]19:00 10[土]14:00	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:サー・スティーン・ハフ 芥川也寸志:エローラ交響曲 ブリテン: バレエ音楽《パゴダの王子》組曲 ブラームス:ピアノ協奏曲第1番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
5月	第75回杉並定期演奏会 杉並公会堂 17[土]15:00	指揮:大友 直人 トランペット: オッタビアーノ・クリストーフォリ ベルリオーズ:序曲《ローマの謝肉祭》 アルチュニアン:トランペット協奏曲 ベルリオーズ:幻想交響曲	お問い合わせ: 杉並公会堂
	第25回相模原定期演奏会 相模女子大学グリーンホール 18[日]14:00		日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪



©Angie Kremer

カーチン・ウォン [首席指揮者] 今後の公演

第770回東京定期演奏会 サントリーホール

2025年 5月9日(金) 19:00 開演 10日(土) 14:00 開演

ピアノ: サー・ステイーヴン・ハフ
芥川也寸志: エローラ交響曲
ブリテン: バレエ音楽《パゴダの王子》組曲
ブラームス: ピアノ協奏曲第1番

1回券料金 S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥6,500 C 完売 P ¥5,000
Ys (25歳以下) ¥2,000

好評発売中

第149回さいたま定期演奏会 ソニックシティ

2025年 5月24日(土) 14:00 開演

ヴァイオリン: 服部 百音
シベリウス: ヴァイオリン協奏曲
マーラー: 交響曲第5番

1回券料金 S ¥6,000 A ¥4,500 B ¥3,500 Ys (25歳以下) ¥2,000

好評発売中

第410回名曲コンサート サントリーホール

2025年 5月25日(日) 14:00 開演

ヴァイオリン: 服部 百音
シベリウス: ヴァイオリン協奏曲
マーラー: 交響曲第5番

料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500
Gs (70歳以上) ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,000

好評発売中

第773回東京定期演奏会 サントリーホール

2025年 9月12日(金) 19:00 開演 13日(土) 14:00 開演

マーラー: 交響曲第6番《悲劇的》

1回券料金 S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000
P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

定期会員券
5月28日(水) 発売

1回券
6月20日(金) 発売

第410回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール

2025年 9月20日(土) 15:00 開演

ピアノ: 高木 竜馬
伊福部昭: SF交響ファンタジー第1番 ラヴェル: ピアノ協奏曲
ドヴォルジャーク: 交響曲第9番《新世界より》

1回券料金 S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000
P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

定期会員券
5月28日(水) 発売

1回券
6月20日(金) 発売

第256回芸劇シリーズ 東京芸術劇場

2025年 9月21日(日) 14:00 開演

ピアノ: 高木 竜馬
伊福部昭: SF交響ファンタジー第1番 ラヴェル: ピアノ協奏曲
ドヴォルジャーク: 交響曲第9番《新世界より》

料金 S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000
Gs (70歳以上) ¥6,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

6月12日(木) 発売

第774回東京定期演奏会 サントリーホール

2025年 10月17日(金) 19:00 開演 18日(土) 14:00 開演

ピアノ: 小川 典子 トランペット: オッタビアーノ・クリストーフォリ[ソロ・トランペット]
ショスタコーヴィチ: ピアノ協奏曲第1番 ショスタコーヴィチ: 交響曲第11番

1回券料金 S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000
P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

定期会員券
5月28日(水) 発売

1回券
6月20日(金) 発売

第80回杉並定期演奏会 杉並公会堂

2026年 3月7日(土) 15:00 開演

ホルン: 信末 碩才 [首席奏者]
芥川也寸志: 交響管絃楽のための音楽 R. シュトラウス: ホルン協奏曲第1番
ストラヴィンスキー: バレエ組曲《火の鳥》(1945年版)

1回券料金 S ¥5,300 A ¥4,200 B ¥3,100
お申込み: 杉並公会堂

杉並公会堂オンライン一般
11月18日(火) 15時

電話予約発売
11月19日(水) 11時

第261回芸劇シリーズ 東京芸術劇場

2026年 3月8日(日) 14:00 開演

ホルン: 信末 碩才 [首席奏者]
芥川也寸志: 交響管絃楽のための音楽 R. シュトラウス: ホルン協奏曲第1番
ストラヴィンスキー: バレエ組曲《火の鳥》(1945年版)

料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000
Gs (70歳以上) ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

11月26日(水) 発売